

**PRESS RELEASE**

2011年12月13日

報道関係各位

データ・ケーキベーカー株式会社

データ・ケーキベーカー社、  
ビジネスカテゴリーが崩れる不確実性の時代、  
衆知を集めて役立つ集合形式知を創出する  
“ファシリテータ・アシスト連環データ・ソリューション”を発売。

データの情報化・知識化のためのソフト開発型のベンチャーであるデータ・ケーキベーカー株式会社（多摩市 社長 唐澤英安）は、これまで、“イノベーションのためのデータ・リテラシーへの貢献”をテーマに、“社会のあらゆるデータを可視化し情報化・知識化する”ことを目指し、Saas型アナリティック・ビジネス・インテリジェンスを開発してきました。

この度、12月20日より、前提や習慣やビジネスカテゴリーが壊れる不確実性の時代に、衆知を集め、役立つ集合形式知を創出するための“ファシリテータ・アシスト連環データ・ソリューション”を、スポット型の受託サービスとしてリリースします。

いま、技術が専門化し高度化して専門の壁が厚くなり、また、ビジネスプロセスの形骸化が進んで、生の声を隔離する組織の壁が増えて、新製品や新サービスなどのアイデアの収集・評価・決定が難しくなってきました。一方、ICTの出現で、市場機能と決済機能が広がり、分断されていたビジネスのプロセスが直接リンクし、各種のサービスニーズに対して全く新しい分業形態が出現しております。またある事象の変化が従来とは異なった社会的次元に広がり、新しいリスクやビジネスが生まれています。

こうして、従来のビジネスカテゴリーの壁が壊れ、従来の前提や想定された条件が崩れ、専門的論理や経験則が通用しにくくなり、問題の構造を的確に把握することも難しくなっております。

こうした背景から、多くの専門家、各ビジネス部門に担当者や顧客などの、衆知を集めるワークショップや、ワールドカフェ、ワールドビュー等が注目されています。しかし、これを取り仕切るファシリテータの負担は、ますます大変になってきております。

アイデアの発想・収集法は、ブレインストーミングやTRIZ等、従来から多数あり、また、Web、スカイプ、フェースブック等の手段も使いやすくなってきており、比較的容易です。しかし、集められたアイデアは、文章や図表で表現されていたり、多くが問題定義とその解という構造を持った情報となっております。アイデアの数は多いのですが、その比較や評価が難しく、こうしたアイデアの取りまとめをするファシリテータの負担が大変になり、その働き次第で成果が決まります。

取りまとめや評価を難しくしているのは、似たアイデアが多く、それもゴミのようなアイデアが多く、光ったアイデアが埋もれてしまうこと。また、集まったアイデアが偏っており、大切なアイデアの領域が抜けているのではないかという恐れがあること。

さらに、決定を難しくしているのは、評価する人の立場や背景によって、複数の異なる尺度が存在し、団子になっていることです。ファシリテータの役割と責任は大変です。

“ファシリテータ・アシスト連環データ・ソリューション”（ファシリテータ・アシスト DCB-S）は、商品・サービス・事業企画担当者や、専門家、コンサルタントのためのファシリテーションを支援する、「連環データ分析」を使ったスポット型受託サービスです。

“FA-DCB-S”は、3つのアドバンテージを持っております：

- 1) 似たアイデアを括って、類型化し、アイデアの分布全体を俯瞰的に可視化します。
- 2) 新しいアイデア領域や抜けのある領域を示唆し、外部情報との接合も可能です。
- 3) 立場や価値観が異なる評価尺度に分解し、意見を集約する手順をガイドします。

これらの利点は、ベースとなっている“連環データ分析”が持つ3つのフィーチャによって実現できたのもです：

- ①量的、質的データマイニングとテキストマイニングの統合解析が可能。
- ②多数のクロス表を情報圧縮して3次元MAPに統合して可視化が可能。
- ③クロス表の表側と表頭の属性タグを同時布置でき、同時クラスターが可能。

注)関連する論文を、日本経営工学会 2011 年秋の大会に予稿論文として発表済。

“ファシリテータ・アシスト DCB-S”は、簡単に美しく表現できる機能を持っている“連環データ分析”と、専門スタッフによるスポット型のサポートをパッケージ化した、“マーケット・リサーチ-DCBS”に次ぐ新しいソリューションです。専門家やコンサルファームの皆様にご利用していただくことを期待しております。

### データ・ケーキベーカ株式会社について

データ・ケーキベーカ株式会社は、“for Innovation Story”をキーワードに、2000年設立されました。現状を的確につかみ、目標とそこに到るプロセスを設定し、より良く活動をするために、データ・リテラシーが必要です。データ・ケーキベーカは、データから意味のある情報や役に立つ知識を得るための、“データ・リテラシーの向上に貢献する”ことを目指し、“世の中のあらゆるデータを可視化すること”に挑戦します。

データ・ケーキベーカ株式会社

東京都多摩市桜ヶ丘1丁目53番地の46

TEL : 042-357-6871 FAX : 042-357-6871

<http://www.dcb.co.jp>

本件に関するお問い合わせ:唐澤/古山 [dcb@dcba.co.jp](mailto:dcb@dcba.co.jp)

以上